

(次世代のためにがんばろ会)

(八代市内の高校生チーム「エコユースやつしろ」体験活動)

【取組み内容】

八代市内の高校生チーム「エコユースやつしろ」と共に、地域住民を巻き込みながら、SDGsの重要な体感型活動を共に行っており、ユースには、地域の魅力や課題を学ばせ、地域に愛着を持ち、自ら行動を起こせる若者を育成している。

さらに県外の高校生との情報交換を学び、課題解決のアクションを「自分ごと」として考え、地元で課題解決が実践できる人を増やしていくことが目標。



評価項目ごとの取組みの特徴・ポイント

普遍性	地域のことを「自分ごと」として理解して地域の魅力と課題をわかりやすい形で「体験」で実施している。
包摂性	地元八代の高校生が、地元のことだけを学ぶだけで見識が狭いまま終わらないよう、県外の高校生とも交流し、情報交換や学び合いを通じて、各地域とのつながりを深めることを目指す。
協働性	国土交通省や八代市、大学教授らと共に地域を認識し地域を誇れる人材教育を開催中。
統合性	総合的な視点で高校生たちが地域環境について学び考えることができ、干潟を守るための人材により、地域住民が自主的な活動を展開していく。
透明性	自らの言葉で情報発信：ラジオ・テレビ・SNSで世界へ発信し、報告書をHPで掲載。

貢献するSDGsのゴール

